

来週の「売り物」記事はこれ



2014年5月9日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

「普天間飛行場」移設問題

分断される沖縄・辺野古

11日（日）



米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設先とされる名護市辺野古。普天間の移設について日米が合意してすでに18年の歳月が流れました。この間、計画は二転三転。「最低でも県外移設」を唱えた民主党政権下で事態は一段と混迷していきました。再び辺野古への移設で動き出したものの、今年1月の名護市長選では移設反対を訴えた現職



が再選を果たしました。国策が揺れるたびに翻弄され続けたのが、人口2000人足らずの辺野古の町です。移設受け入れの見返りとして、名護市などには数百億円のカネがぶち込まれましたが、住民たちも複雑に分断され、肝心の辺野古の町はさびれたまま……。いったいなぜか——。辺野古の町を歩くと、「反対か、それとも「賛成」かという、単純な二元論では割り切れない事情が浮上してきました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

スタンドが赤い！

カープファン、関東でも増殖中

夕刊2面特集ワイド 12日（月）



ここ数年、関東でも広島カープファンが増えている。ゴールデンウィーク最終日に神宮球場であったヤクルト戦でも、スタンドは真っ赤に埋め尽くされ、ホームゲームかと思わせるほど。昨シーズンの東京ドームの平均観客動員数でもみても、広島戦は伝統の阪神戦を上回り、データも裏付けている。折しも今シーズンのカープは好調を維持し、盛り上がりは一層過熱する。なぜいま、関東でも「カープ」なのか。赤、赤、赤のスタンドで、ファンの思いを聞いた。

「米團治の粋な噺で行きましょう」

おんなのしんぶん面 12日（月）



落語家の桂米團治さんの対談コーナー「米團治の粋な噺で行きましょう」。今回のゲストは、世界的なファッションデザイナーのコシノヒロコさん＝写真。喜寿を迎え、なお新しいことにチャレンジしているヒロコさんの元気の秘訣は「仕事と恋」とのことです。



母の日・父の日募金キャンペーン

くらしナビ面 11 日 (日)



「プレゼントをあげる親がもういない」という読者の声で始まった、毎日新聞の「母の日・父の日募金キャンペーン」が今年、10 回目を迎えます。毎年、親を亡くしたり、親と暮らせない子へ、皆さんからたくさんの支援が届いています。今回は、父親を亡くした 4 人兄弟が、母親を支えながら夢に向かって明るく生きる姿を紹介します。

新コーナー「教えてワークルール」

くらしナビ 12 日 (月)

若い世代の非正規雇用者が増えたり、労働者派遣法など法制度が次々変わるなど、いま働く環境は大きく変化しています。若いうちから正しく知っておきたい雇用、労働の仕組みや現状について、「15 歳からの労働組合入門」などの著書がある、社会部の東海林智記者が分かりやすく説明します。



サッカーW杯日本代表決定

12 日 (月) 発表

サッカー女子アジア杯

14 日 (水) 開幕



いよいよ 1 カ月後に迫ったサッカーW杯。日本代表 23 人が 12 日に発表されます。前回南アフリカ大会でベスト 16 と大健闘した日本代表。さらなる躍進を目指すブラジル大会のメンバーは？ 13 日朝刊で詳報します。また 13 日には予備登録の 7 人も決定、14 日朝刊で紹介します。

一方、前回ドイツW杯で世界の頂点に立った女子日本代表。来年 6 月に開幕するカナダ大会のアジア予選を兼ねたアジア杯が 14 日に開幕します。日本代表は 1 次リーグで、オーストラリア (14 日)、ベトナム (16 日)、ヨルダン (18 日) と対戦。7 大会連続W杯出場と、アジア杯初優勝を目指します。